

白砂まちづくりセンターの新たな取組

事業名

地域の子どもが地域を知る・学ぶ事業 2021年度「キラキラ☆白砂の海」

P

事業の目的（解決を目指す課題）や見込まれる成果

（目的）

地域の子どもたちが地域の大人と一緒に学ぶことで、自分たちの地域を知り、誇りを持つことができる。大人も、地域の子どもを知ることができる。

（見込まれる成果）

郷土愛を持つ子どもに育つ。

地域との繋がりを持つことで連帯感が生まれる。

D

事業の概要

・実施日時 7/31（土） ・対象 白砂地域子供会 白砂っこ倶楽部 親子 23人
白砂地域の海「吉浦海岸」での事業。海岸清掃、海ヨガ、生き物探し、海遊びを行った。
海岸清掃では、砂浜に打ち上がったペットボトルやマイクロチップなどの海洋ゴミを拾い、ゴミ袋 3 袋分にもなった。子供たちが現状を知ることにより、環境問題について考える機会となった。

海に入る前の準備体操として海ヨガを行った。二人一組で行い、親子や兄弟、友達と触れ合いながら楽しんで行うことができた。

生き物探しでは、しまね海洋館アクアスの職員 3 名と海に潜って、カワハギやタコ、ヒトデ、ウニなどを見つけた。箱眼鏡や網を使って捕まえることができた。実際に生き物を捕まえたり、説明を聞いたりすることはなかなかできないので、子どもも保護者もいい勉強の機会となった。

C

課題の解決度合（10段階の自己評価）

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

										○
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

上記評価の理由

白砂地域は人口も少なく、子育てが終わると、地域の子ども達と接する機会が少なくなる。事業の中で交流することで、顔見知りが増え、こども達が「親だけでなく、地域の大人たちに見守られて育つ安心感」を感じてくれるよう期待し、今後も継続していきたい。

A

事業の継続、発展に向けて今後取り組むこと（評価を 10 に近づけるために）

ふるさと郷育推進事業として行ったが、まちづくり委員会にも共催をお願いし、会長、教育振興部会長の協力を経て実施することができた。今後は保護者や役員だけでなく、地域の様々な方と交流を持てるよう、広く声かけをして参加を呼び掛けたい。

